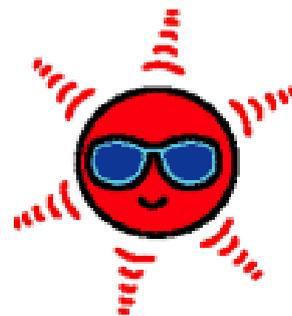


# 青空通信



NPO 法人 ウェルコミュニティ飛騨  
青空作業所・高山市山口町 1297-1 0577-35-1559  
<http://welcomhida.web.fc2.com/>  
平成 22 年 10 月 25 日発行 第 10,11 合併号

## 理事長あいさつ

理事長 柏木 真司

日頃より、ウェルコミュニティ青空作業所の活動に対し、ご理解とご支援を賜り誠に有り難うございます。

本年5月の連休明けに空町作業所と青葉の家を合併し、青空作業所として活動をはじめ、5ヶ月ほどが経過いたしました。お陰様をもちまして、メンバーの方々にも新しい作業所に慣れていただき、毎日元気に通所していただいております。またこの間、新しい施設の見学会やバーベキュー大会など地域の方々との交流を図ることができました。

先だっては、永家工業さんをはじめとした関連企業の方々による施設修繕ボランティアも実施していただきました。このように地域の方々にご支援いただけることに、あらためて感謝申し上げます。

本年度当初の就職目標は5名を掲げておりましたが、上半期終了時点ですでに6名のメンバーが就職により作業所を卒業されました。厳しい雇用情勢のなか、このように多くの方が就職できたことを大変うれしく思います。

ここ飛騨地方は、冬に向けて経済状況は厳しくなって参りますが、下半期も働けるチャンスのある方にはぜひ、就職を目指してがんばっていただき、私たちも支援させていただきたいと考えております。

## お知らせ

### 施設見学者、作業体験者大募集!!

日中することがない 家にいても不規則な生活になってしまう 働きたいけどまだ自信がない  
少しでも稼ぎたい 支援を受けながら無理なく働きたい 作業所ってどんなところ？

みなさん、青空作業所に見学に来ませんか？

団体での見学も個人での見学も受け付けております。事前にご連絡いただき、日程を調整してから来所してください。青空作業所は皆様のご連絡をお待ちいたしております。

お問い合わせ先

NPO法人ウェルコミュニティ飛騨 「青空作業所」

TEL：0577-35-1559

**まずはご連絡ください。**



# 最近の活動報告①

## H22年5月27日防災避難訓練



5月末に防災避難訓練を実施しました。避難経路の確認、避難ロールプレイ、危険箇所の話し合いなどを行い、みんなで施設の安全について考える良い機会となりました。

## H22年6月6日施設見学交流会

施設移転に伴い、関係者、近隣を招いての見学交流会を開催いたしました。多くの方に足を運んでいただきありがとうございました。当日は施設見学の後、ウェル特製カレーやパン、その他オードブルで大勢でのランチを楽しみました！！



## H22年7月29日調理実習



## H22年8月10日石鹸作り教室



今年度、1回目の調理実習です。今回のメニューは天丼、ポテトサラダ、プリン  
の3品!!

買出し担当がハリキリすぎて、かなり豪華な天丼になりました。みなさん満腹で苦しそう(笑)

高山幼稚園の園児を対象とした石鹸作り教室を開催いたしました。途中からは園児よりもお母さん方が夢中になって作っていたようです(笑)



## 最近の活動報告②



**H22年8月21日**  
**ウェルコミュニティ夏祭り**



今年からスタートした第1回ウェルコミュニティ飛騨夏祭り!!  
メインを飾る「ガタパango」の演奏、飛び入り参加のカラオケ大会、お手玉教室やビアガーデン風屋台など、たくさんの来場者と一緒に盛り上がりました。

**H22年8月27日**  
**あじさい会BBQ大会**



夏の終わりの恒例行事、あじさい会主催のBBQ大会が開催されました。  
近隣住民の方々との交流を目的とした行事で、今年で3回目を迎えます。  
当日は炭火で焼肉を行い、みんなで美味しく楽しく盛り上がりました。



## 最近の活動報告③

H22年9月18日～19日  
 全国障害者就労支援ローカルネットワーク  
 第3回全国大会・研修会 in 飛騨高山



全国障害者就労支援ローカルネットワークの第3回全国大会が高山市役所市民ホールにて開催されました。当法人は大会事務局として運営に携わりました。1日目はネットワークHIDAの活動紹介など、2日目は全国各地の先進的な取り組みの実践報告などが行われました。大会には全国各地から約150名の参加をいただき、1日目の夜には盛大な交流懇親会が催されました。大会を通じて全国の障害者就労支援に携わる方々との交流の機会を得て、実り多い2日間となりました。運営にご協力いただいた皆様、大変ありがとうございました。

H22年9月24日  
 あじさい会レク (ビッグアリーナ)



あじさい会主催のレクリエーションで、ビッグアリーナにてソフトバレーを行いました。「アロハ～」の掛け声でサーブを行うのが流行ってしまい、チーム名は「アロハ」に決定!!

## 最近の活動報告④

H22年10月21日  
地域交流りんご祭り



ライオンズクラブ主催の地域交流りんご祭りに参加してきました。当日は生憎の雨にも関わらず多数の参加者で、美味しいりんごと特性カレーを堪能しながら、バンドとマジックに盛り沢山の企画でした。



## 卒業生レポート

卒業生レポート第2弾は、柚原庭園に就職した藤原直樹さん、アピタ高山店に就職した小泉紀子さんにインタビューしてきました。

【藤原直樹さん】

雇い主にインタビュー

Q：雇用する際はどのような点を見て決めますか？

A：明るさや素直さ。障害や病気があるという方でも、会って話した時にこの2点を感じることができるかどうか。

Q：働いていく上で大切にしてほしいことは何ですか？

A：やる気・仕事に向かう姿勢。障害の有無ではなく、やる気の有無で判断したいです。彼は本当にやる気があるのが伝わってくるし、仕事を通じて体調が回復していくのを見るとこちらもうれしくなります。



藤原さんにインタビュー

Q：どんな仕事をしていますか？

A：庭木の手入れ、選定、庭の工事など。勤務時間は8:00~18:00頃までで、基本週3日の勤務。仕事の都合で週4日になることもある。勤務開始から4ヶ月が経ち、生活のリズムができ、痩せた。

Q：就職に向けてまずどういう行動を起こしましたか？

A：ハローワークへ求職登録に行った。

Q：就職しようと思ったときどんなことに気がつきましたか？

A：身だしなみ、言葉づかい、電話の対応の仕方など最低限のマナーを身につけようと思った。面接や仕事に行く際は携帯灰皿を持って行きました。

Q：働いていて大変なことはありますか？

A：葉や石の名前や産地など覚えることが多くて大変。しかし、自分の知識が増えたり、技術を覚えることがやりがいにもなり、仕事が楽しいと思える。



Q：働くうえで嬉しいことは何ですか？

A：仕事終わりのお酒がおいしい！！

人間関係に恵まれている。和気あいあいとしながらも、仕事はだらけず真面目に取り組むことが大切。大変なことも多いが、自分にはこの仕事が向いていると思えたときに喜びを感じる。

Q：就職を目指す人にアドバイスをお願いします。

A：将来のことを考えてあまり焦らずに、まずは病気を治すことを優先する。主治医の先生を信頼し、薬のことなどしっかり相談していくことが大切。場合によっては入院も病気を治そうと思ったら必要になることもある。調子が良くなったらすぐに就職を目指すのではなく、作業所に通い、マナーや生活のリズムなどを身につけていくことが重要だと思います。

作業風景



インタビューの様子

### 【小泉紀子さん】

#### 雇い主にインタビュー

Q：アピタでは多数障害者雇用を実施されていますが、どのような仕事内容で雇用していますか？

A：カートの回収で1名、青果の商品出で2名雇用されている。またアピタの中に入っているテナントにも1名雇用されている。

Q：雇用する際はどのような点を見て決めますか？

A：アピタの一員として働くということを前提として、人柄・笑顔・やる気の有無を見る。やる気に関しては、面接の数分の間でもわかる。自信がなくても頑張ろうという気持ちが見えるかどうか。

インタビューの様子

Q：働いていく上で大切にしてほしいことは何ですか？

A：お客様はもちろん、従業員同士でも挨拶を大切にしてほしい。また、わからないことはそのままにせずに、仲間に聞くことが大切。

Q：今後もアピタでの求人の予定はありますか？

A：当社では障害者雇用という枠はなく、応募の段階では障害の有無は関係ない。現段階では、食品レジ・おもちゃ売り場・青果鮮魚コーナーでの求人が出ていますが、働くという心構え、店に貢献するという気持ちがあればどなたでも応募ください。



Q：支援者に求めることは何ですか？

A：ジョブコーチもつかなくなり、一人で働くということになったときの心構えを事前に伝えてほしい。

一人で働くということになっても大丈夫なように、事業者が伝えにくいことをジョブコーチが伝えるなど橋渡しの役割を担ってほしい。



## 小泉さんにインタビュー

Q：就職に向けてまずどういう行動を起こしましたか？

A：スタッフと一緒にハローワークに行き、求職者登録をした。今回のアピタでの就職はハローワークからの紹介で決まった。

8日間のチャレンジ実習（1日4時間）を経て、本採用に至る。現在は試用期間中（3ヶ月）で、ジョブコーチの支援を受けながら勤務を行っています。

Q：現在の勤務状況を教えてください。

A：勤務内容はカート・かごの回収、カートの汚れ取り、リサイクルボックスのゴミ回収が主な仕事。また草取りやポスター貼りなどの仕事もする。勤務時間は週5日、2時間勤務。

Q：就職しようと思ったときどんなことに気がつきましたか？

A：身だしなみ、言葉づかい、礼儀作法。例えば、見学・面接はスーツで行く、電話対応のマナー、入退室の際は大きな声で挨拶をするなど。

Q：働いていて大変なことはありますか？

A：アピタ中を歩き回るので、足の裏が痛くなる。（1時間で7千歩！）また挨拶をしても返してくれない人もいて悲しい。いらっやいませ、ありがとうございましたなどの挨拶が、まだ恥ずかしくて大きな声でできない。

Q：働くうえで嬉しいことは何ですか？

A：他の従業員の方から「お疲れさまでした」などと声掛けをしてもらったときやお客様にわからないことを聞いてもらったとき。

Q：就職を目指す人にアドバイスをお願いします。

A：無理をすることなく、自分にできることを続ける。休む時は休む、働くときは働くなど自分でメリハリをつける。

## 小泉さんのお母様にインタビュー

今回は特別に、お母様にもインタビューさせていただきました。ご家族としての意見を伺いました。

Q：娘さんが就職したいと言われて、どのように感じましたか？

A：初めは本人の焦り、思い込みなのではないかと思った。しかし、本人の前向きな気持ちは大切にしたいと思った。提示された時間、内容で本人もできると感じていた。従業員の方の助けがあれば長く続けることができるかなと思った。

Q：家族として気がつけたことは何ですか？

A：仕事を長く続けさせようと思うと家庭での甘えを許してしまいそうになるが、働くという自覚を本人に持ってもらうため、飴と鞭を使い分けながらうまく割り切るようにしている。家族としての接し方は、本人の言動にイライラすることもあるが、怒りを抑えて、冷静に第3者的な目線で伝えることが重要。本人に巻き込まれずに一歩引いて接することが大切だと思う。

卒業生インタビュー第2弾、いかがでしたか？ 会社の方の話しを聞くと、採用のカギはやる気にあるようですね。小泉さんは一度退職を考えたこともあるようですが、会社の上司とよく相談して、時間を短縮した上で継続することになったようです。就職した後の会社の方とのコミュニケーションも大切ですね。みなさんご協力ありがとうございました。